

群馬県議会だより 第108号

題字は群馬県立前橋南高等学校2年生 書道部 はぎわら まな は萩原 愛葉さんの書道作品です

発行/群馬県議会 編集/県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-226-4131(政策広報課)

第1回定例会開催



赤城南面千本桜 (前橋市)

およそ3.5kmにおよぶ道路沿いに、約1,400本のソメイヨシノの桜並木が立ち並びます。桜まつりが開催される約1.3kmの沿道では、満開になると見事な桜のトンネルとなります。また、同時期に咲く黄色い菜の花とピンクの桜並木とのコントラストも楽しめます。

第1回定例会のあらまし

▶令和8年第1回定例会は、2月16日から3月18日までの31日間にわたって開催されました。

※第1回定例会の詳細(議案、賛否など)は、こちらの二次元コードから▶



▶議案

2月16日には、知事から『難局突破&先駆的未來投資予算』と銘打った総額8,486億円の令和8年度一般会計当初予算をはじめ、群馬県再生資源物の屋外保管等の規制に関する条例、群馬県公契約条例など95議案が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、規則等改正案2件が発議されました。

▶質疑及び一般質問

5人の議員による代表質問と12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。(2、3面参照)

▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事

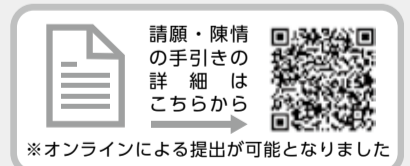
項などについて審査を行いました。また、各特別委員会で付託事件に係る提言書をまとめました。(2面参照)

▶議決

議決は、3月6日及び3月18日に行われました。知事から提出された95議案は、全て可決・承認されました。

議会から発議された議案についても全て可決されました。

また、1件の請願が採択されました。



※オンラインによる提出が可能となりました

▶可決された主な議案

○令和8年度群馬県一般会計予算

○群馬県再生資源物の屋外保管等の規制に関する条例

：「ヤード」における再生資源物の保管等の規制に関し、必要な事項を定めようとするもの

○群馬県公契約条例

：公契約の公正かつ適正な運用を図るため、必要な事項を定めようとするもの

代表質問

令和8年2月20日の各党(会)派代表による代表質問では、次の議員が質問を行いました。各議員の質疑の中からピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月20日(金) 自由民主党 (130分)



金井 康夫 自由民主党
(沼田市)



▶看護職・介護職の確保対策について

Q 県内の看護職・介護職の状況と、賃金及び今後の人材確保に向けた取組について伺いたい。



A 健康福祉部長

将来を見据え、看護職・介護職の処遇改善と安定的な確保は大変重要な課題である。そこで、看護職確保のため、看護師等養成所への支援として施設運営費の加算新設や、県内の看護系大学生を対象に県内就職を要件に5年間で最大180万円の奨学金返還支援制度を新たに導入する。介護職については、総合的な人材確保対策や生産性向上等に加え、ケアマネジャーを含む介護従事者への賃上げ支援を実施していく。

▶群馬県における企業誘致の戦略について

Q 県内への投資を促進する新たな取組が必要と考えるが、知事の考えを伺いたい。

A 知事

群馬県の立地優位性などの強みを生かしつつ、成長分野の投資を呼び込む新たな補助制度、ぐんま未来投資促進補助と本社機能移転促進補助を創設、令和8年4月の運用開始を目指している。補助制度は、企業の初期投資と立地後の継続的な支援、雇用創出を後押しするものである。若者や女性に魅力ある産業の集積により、県経済の持続的発展と地域の魅力向上につながるよう、企業誘致に取り組みたい。



大和 勲 自由民主党
(伊勢崎市)



▶物価高に対応する価格転嫁や生産性向上の取組について

Q 物価高に対応する価格転嫁や生産性向上の取組について伺いたい。

A 産業経済部長

原材料や人件費の高騰が続く中、県内企業の成長には適正な価格転嫁と生産性向上が重要と認識している。県は、共同宣言やセミナーを通じて価格交渉力と取引適正化を促し、DX補助金により技術導入や業務効率化を支援してきたところである。来年度は、ハンズオン支援^(※1)の実施や補助金拡充、賃上げ支援を継続し、企業の収益力向上と県内経済の好循環の実現を図っていく考えである。

つる舞う (47分)



栗野 好映 つる舞う
(安中市)



▶蚕糸業振興について

Q 蚕糸業の維持・振興のため、碓氷製糸の経営安定と原料繭確保に向けた養蚕農家への支援が重要と考えるが、県の対策を伺いたい。

A 農政部長

碓氷製糸の経営維持のため、原価割れしている生糸の製造コストを補填するとともに、国産生糸を使用したシルク製品を製造する県内中小企業の取組を支援し、生糸の需要拡大と付加価値の向上を図ってまいりたい。また、養蚕に係る新規参入者の確保・育成に取り組むとともに、養蚕農家の経営安定のため繭代を補助し、碓氷製糸の原料繭確保を支援する。

リベラル群馬 (43分)



本郷 高明 リベラル群馬
(前橋市)



▶ぐんまちゃんのブランド化について

Q 県内経済や県民生活にどのような効果があったと評価し、費用対効果の観点から施策を継続することの是非について認識を伺いたい。

A 知事戦略部長

イベント実施やプロモーションなどの取組が、20~49歳の女性認知度71.4%、関連商品売上624億円などの成果に表れている。今年度は観光誘客や地域活性化につながる取組も強化している。群馬県のキラコンテンツであるぐんまちゃんの価値の最大化を図ることは、地域ブランドの創出に大きく貢献するものと考え、今後も県民がメリットを感じられるような取組を進めていきたい。

公明党 (40分)



清水 大樹 公明党
(高崎市)



▶難聴児補聴器購入等支援事業の拡充について

Q 難聴児補聴器購入等支援事業の拡充が必要であると考えますが、令和8年度の事業内容を伺いたい。

A 生活こども部長

令和8年度から、骨導式の補聴器について、シールで貼り付けるもの、軟骨部に振動を与えるものを選択できるようにした。また、話し手の声を専用のマイクから耳に装着した受信機へ送る補聴援助システムも対象に追加した。さらに、専門医が必要と判断した場合には、一側性難聴や高音急墜型難聴など、これまで助成対象にはならなかった児童も支援対象とすることができるよう事業を拡充した。

※1 ハンズオン支援…専門家が企業に深く関与し、実践的な指導を通じて経営課題の解決や成長をサポートする支援形態

活動紹介 特別委員会

約1年かけて検討・議論を重ねてきた4つの特別委員会から3月13日、知事及び教育長あてに提言を提出しました。

※全文はこちら▶



■ 防災・減災・治安に関する特別委員会

「防災・減災・治安に関する提言」として、防災・減災に関すること、治安対策に関すること(子どもの安全含む)、公共インフラの老朽化対策に関することなど、防災・減災と治安対策を一体的に強化した施策を推進するに当たって取り組むべき19項目について提言しました。

■ 「ヤード」対策等に関する特別委員会

「ヤード」対策等に関する提言」として、「ヤード」対策に関すること、廃棄物処理に関すること、再生可能エネルギー・グリーンイノベーションに関することなど、「ヤード」対策等に関する施策の推進に当たって取り組むべき16項目について提言しました。

■ スポーツ・文化に関する特別委員会

「スポーツ・文化に関する提言」として、スポーツの推進に関すること(部活動の地域移行含む)、湯けむり国スポ・全スポぐんまに関すること、伝統文化の継承・支援に関すること、観光振興・情報発信に関すること、多文化共生に関することなど、本県におけるスポーツ・文化に関する施策を推進するに当たって取り組むべき27項目について提言しました。

■ 地域支援に関する特別委員会

「地域支援に関する提言」として、中小企業支援・物価高騰対策に関すること、公共交通・交通イノベーションに関すること、次世代産業(デジタル・クリエイティブ産業)の振興に関すること、公契約条例に関すること、米国関税対策に関することなど、県民・事業者の経済的不安解消と、新たな価値の創造を踏まえた「地域支援」に資する施策を推進するに当たって取り組むべき15項目について提言しました。



群馬交響楽団 フルオーケストラ議場演奏



群馬交響楽団による議場演奏

第1回定例会の恒例となっている、県議会の本会議場をステージにした群馬交響楽団の「議場演奏」が、開会日の2月16日に行われました。

今年はチャイコフスキー「歌劇《エフゲニー・オネーギン》からポロネーズ」や、グリーグ「2つの悲しい旋律から 第2番「過ぎにし春」」など4曲が演奏され、議員だけでなく、傍聴に訪れた約90人の皆さんも聴き入りました。

「議場演奏」は、昭和32年3月定例会において、初めて演奏されて以来、議事堂改築などの一部期間を除き毎年実施しています。

質疑及び一般質問

令和8年2月24日、26日、27日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。
各議員の質疑の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

2月24日(火)



丹羽 あゆみ 自由民主党
(みどり市)



▶ 移住希望地ランキング1位を踏まえた次のステップについて

移住者の定着支援を進化させ、過疎地域を含めた地域の活力につなげていくための具体的な方針について伺いたい。

A 知事

移住者と地域住民をつなぐ「移住コーディネーター」による交流イベントなどの情報を、移住直後、地域とのつながりを求めている方に届ける仕組みを整え、顔の見える関係づくりを後押ししていきたいと考えている。また、過疎地域では都市部にはない地域の魅力発信や「地域おこし協力隊」の制度を活用して移住促進に取り組み、移住者の定着支援を進化させ、地域の活力に繋げていきたい。

2月26日(木)



矢野 英司 自由民主党
(富岡市)



▶ デジタル・クリエイティブ産業^(※2)の創出について

エンターテインメントの力を活用したデジタル・クリエイティブ産業の創出について、知事の考えを伺いたい。

A 知事

他の自治体に取り組んでいない領域に踏み出していくことこそが「稼ぐ力」の向上につながるものと考えている。新たな分野での収益基盤の確立は、結果として、県民生活を支える施策の推進に大きく寄与するものと考えている。デジタル・クリエイティブ産業の中核となるエンターテインメントの力を最大限活用し、本県の魅力発信と新たな富の創出を目指し、県民幸福度の向上につなげてまいりたい。

2月27日(金)



入内島 道隆 自由民主党
(吾妻郡)



▶ 県防災ヘリ墜落事故への対応について

事故を風化させないための方法についてどのように考えるか。また、危機管理全般についての見解も併せて伺いたい。

A 危機管理監

事故を風化させないという思いを込め、渋峠と県消防学校の2カ所で追悼式をこれからも行うとともに、事故後に構築した安全運航体制の維持・向上と職員の安全意識の徹底を図っていきたい。また、遺族会のご意見、ご要望には引き続き丁寧に対応してまいりたい。極めて重大な事故を経験したものの責務として、あらゆる面で危機管理体制を強固にするよう取り組んでいきたい。



加賀谷 富士子 リベラル群馬
(伊勢崎市)



▶ 湯けむりフォーラムについて

「職員の動員指示はなかった」とするなどの今回生じた問題について、反省点をどのように捉え、今後どう対応していくのか。

A 知事戦略部長

今回の問題は、部長の指示方法や確認体制が不十分で、現場との認識に齟齬が生じたことに起因すると受け止めている。指示の伝え方や確認方法を見直すことで、管理職と現場との間で意図のずれが生じないようにし、現場での運用が適切に行われるよう改善を図っていく。また、再発防止に向け、今回の事案を組織全体で共有し、職員が適切に業務を遂行できるよう、指導・支援に取り組んでいく。



酒井 宏明 日本共産党
(前橋市)



▶ 生活保護行政の今後の取組について

生活保護に関する調査結果を踏まえ、県全体の生活保護の適正実施を図るために、どのように取り組んでいくのか伺いたい。

A 福祉局長

調査結果から福祉事務所全体で統一的な対応ができる仕組みを整えていく必要があると考え、職員が必要なポイントや根拠を確認できるよう、権利侵害や誤りが起きやすい場面におけるチェックリストを作成することとした。このチェックリストについて、制度の趣旨目的に沿った活用がなされるよう、研修により徹底を図るとともに、定期監査等において取組状況の確認や指導を行っていく。



宮崎 岳志 群馬維新の会
(前橋市)



▶ 本県ゆかりの宰相・鈴木貫太郎について

鈴木貫太郎の顕彰や大河ドラマ化の運動について、県の考えを伺いたい。

A 知事

鈴木貫太郎は、第二次世界大戦末期、ポツダム宣言を受諾し、終戦へ導いた内閣総理大臣である。国の命運を左右する難しい決断を下した偉人が、少年期を前橋で過ごし、群馬県とゆかりの深いことは郷土の誇りである。前橋市民が中心となった顕彰活動に対して、心から敬意を表したい。大河ドラマの実現に向けては、いくつものハードルがあるかと思うが、活動を応援してまいりたい。



牛木 義 自由民主党
(甘楽郡)



▶ 子どもへの食育について

群馬県は栄養教諭の割合が他県に比べ少ないと考えるが、現状の認識と今後どのように食育に取り組んでいくのか伺いたい。

A 教育長

栄養士には栄養教諭と学校栄養職員がおり、そのうちの栄養教諭の割合は全国と比較して低い状況にある。県採用の総数は国の基準に従っており、市町村採用の学校栄養職員も含めた比率が指摘の割合である。食育は組織的・計画的に進めており、栄養教諭はその中核として重要な役割を担う。令和8年度には1名の増員を予定しており、今後も計画的な配置促進と食育指導の一層の充実を図る。



森 昌彦 自由民主党
(邑楽郡)



▶ 赤岩渡船の運航について

県道として運航している「赤岩渡船」に、大量の水草が発生し運航に支障が出ているとの報道があったが、その後の対応状況はどうか。

A 県土整備部長

昨年は高温の影響が長期化し、例年になく規模で水草が繁茂したため、船の運航管理に苦慮する場面もあった。利根川の管理者である国土交通省や、運航を委託している千代田町と協議し、水深が浅く、水草の繁茂が著しい群馬県側の棧橋付近の掘削について県が主体となり実施することとした。工事は3月中に完了する予定である。今後も、利用者の安全を第一に考え、適切に対応したい。



中島 豪 自由民主党
(高崎市)



▶ 社会基盤の整備・維持に必要な予算について

資材価格や人件費の高騰など、建設業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、社会基盤の整備・維持に必要な予算をどう確保していくのか。

A 知事

未来構想フォーラムや建設業協会との意見交換会では、知事自らが現場に足を運び、課題を共有することで、県の予算編成に反映している。その結果、令和7年度国補正予算では、北関東で1位となる配分額を確保するとともに、令和8年度当初予算では、対前年1.02倍となる618億円を計上している。今後も、現場の声を起点とした政策運営を基本に、必要な予算を確保していく。



水野 喜徳 自由民主党
(吾妻郡)



▶ 2029年国スポ冬季大会におけるスケート競技会について

2029年国スポ冬季大会スケート競技会の本県開催についての考えを伺いたい。

A スポーツ局長

本県は多くのスケート競技のオリンピックを輩出し、また、今年開催された国スポ冬季大会スケート競技会では総合5位という成績を取った。県では、スケート競技のさらなる活躍に向け支援をしているところである。2029年の国スポ冬季大会でのスケート競技会の本県開催については、財政的・人的負担が大きく、ハードルが高いため、会場地市町村の意見などを確認しながら、慎重に判断していきたい。



安孫子 哲 自由民主党
(前橋市)



▶ 県立赤城公園の大沼キャンプフィールドについて

大沼キャンプフィールドのオープンに向けたスケジュール及び施設の名称について伺いたい。

A 知事

県立赤城公園の活性化に向けて整備を進めている大沼キャンプフィールドは、ゴールデンウィークの初日である4月25日(土)にオープンすることを決定した。利用予約は3月23日(月)に開始する。施設のネーミングライツパートナーは、指定管理者である株式会社スノーピークに決定し、愛称は、「スノーピーク 赤城キャンプフィールド」である。



狩野 浩志 自由民主党
(前橋市)



▶ 新たな文化拠点について

群馬県民会館廃止に伴う「新たな文化拠点」の整備に向けた検討状況について伺いたい。

A 知事

「新たな文化拠点」について、駅からのアクセス・駐車場の確保の観点から、旧県民会館の立地が最適とは言い難いと評価している。また、既存の建物は「基本的に解体」が良いと考えている。来年度、基本構想の策定にあたり有識者検討会議を立ち上げる予定である。引き続き、県議会の意見を聞いて議論するとともに、前橋市と連携を図り、県民の意見も取り入れながら検討を進めてまいりたい。

※2 デジタル・クリエイティブ産業…デジタル産業とクリエイティブ産業を掛け合わせ、その技術やアイデア等を融合させた新たな産業

若者の政治への関心を高める取組

県議会だより題字揮毫感謝状贈呈式が行われました

県議会広報紙「群馬県議会だより」では、平成23年の第50号から、若者に政治への関心を持ってもらうきっかけとするため、表紙の題字を高校生に揮毫していただいています。

3月12日に、令和7年度に発行した第104号から第107号の題字を揮毫した生徒及び各高等学校書道部に、井下泰伸県議会議長から感謝状を贈呈しました。贈呈後の井下議長との懇談では、書道を始めたきっかけや、部活動の様子、今後の目標などが話題となり、その後、議場等を見学していただきました。



左から木内さん、貝瀬さん、宮田さん、染谷さん、井下議長



★★★ ご協力ありがとうございました! ★★★ ※題字掲載時の学年

第104号	高崎健康福祉大学高崎高等学校	3年	木内真緒花さん
第105号	群馬県立吉井高等学校	2年	貝瀬俐旺さん
第106号	群馬県立桐生高等学校	2年	宮田七瀬さん
第107号	群馬県立渋川女子高等学校	2年	染谷絢音さん

議員に密着ゼミナール ～もっと知りたい政治のハナシ～



昨年12月18日に、県議会議員が大学に向いて学生と意見交換を行う「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

高崎経済大学地域政策学部の「現代政治論」の授業に3人（左から秋山健太郎議員、鈴木敦子議員、

水野喜徳議員）の県議会議員が参加し、「群馬県の地域課題」などをテーマに、担当の増田正教授の進行により300人の学生と熱心に意見を交わしました。

会場では、学生から「群馬県の地域課題は何か」という問いに、議員は「公共交通の充実」「医療格差」「介護や子育ての福祉支援」「産業・経営に対する支援」「県立高校の男女共学化」などを挙げ、「地域課題に向き合い、日々活動している」と応じていました。



議会図書室について 一般の方もご利用いただけます。

- ◇場所 議事堂1階南側（前橋市大手町1-1-1）
- ◇利用時間 平日の午前8時30分から午後5時15分まで
- ◇図書・資料の貸出し 期間：2週間 冊数：3冊以内
- ◇注意事項 群馬県議会図書室は地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究のため、設置されています。議員の利用を妨げない範囲での利用になります。学習での利用はご遠慮ください。



群馬県議会ホームページには、新着図書案内も掲載しています。ぜひご覧ください。



令和8年第2回定例会のご案内

会期は5月21日から6月12日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。また、本会議・委員会は、議事堂にお越しいただければ傍聴することができます。

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
5月21日	木	本会議 (開会・提案説明)	6月4日	木	常任委員会
27日	水		5日	金	
28日	木	本会議 (質疑及び一般質問)	9日	火	特別委員会
6月1日	月		12日	金	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

■ 県議会中継

テレビ 群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉

本会議（質疑及び一般質問）をご覧ください。



インターネット 県議会ホームページ【議事中継】
(生中継・録画)

本会議（全日程）をご覧ください。



スマートフォンでの視聴はこちらから↑

Information

県議会だより電子書籍版(カタログポケット)は、スマートフォンや、タブレット端末等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。閲覧方法は、こちらからご確認ください。



過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。



県議会ホームページ 群馬県議会 検索
県議会の最新情報は公式 SNS でも発信しています。



群馬県議会 YouTube

群馬県 YouTube 公式チャンネル tsulunon



- 「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和8年7月5日(日)発行予定です
- 「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください

☎ 027-226-4131 FAX 027-221-8201 ✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp

県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

編集後記

【図書広報委員長 大林 裕子】

図書広報委員会は、県民の皆さまに県議会の役割や活動を知っていただくため、「群馬県議会だより」を年4回発行しています。

また、公式SNS「X」・「Facebook」・「Instagram」での情報発信のほか、ホームページ、群馬テレビやエフエム群馬における県議会広報番組などを通して、様々な議会活動をお伝えしてきました。

加えて、令和7年度は、県庁舎1階エントランスLEDビジョンによる県議会情報の発信もスタートしました。

今後も、より一層「開かれた県議会」を目指し、積極的に広報に取り組んでまいります。



図書広報委員会 構成委員

委員長：大林裕子

副委員長：亀山貴史

委員：金沢充隆、追川徳信、鈴木敦子、

丹羽あゆみ、今井俊哉、

水野喜徳、清水大樹、中島豪